

『翻譯老乞大』と『老乞大諺解』における分句の相違

竹越 孝

1. はじめに

周知のように、『老乞大』、『朴通事』を始めとする司訳院漢学書の諺解では、「○」によって本文に一定の区切りを設けるのが通例である。この記号は、漢字本文及び音注の部分と朝鮮語訳の部分との境界を表すものであるとともに、本文に対する句読点の役割をも果たすものと言える。

本稿では、漢字本文に関してほぼ同一の内容を持つ『翻譯老乞大』(1517年以前、亞細亞文化社1980による、以下『翻譯』)と『老乞大諺解』(1670年、京城帝國大學1944による、以下『諺解』)を対象として、両書における分句が相違する箇所を一覧の形で示し、併せてそれに付随する若干の問題を考察することとする。

2. 分句の相違

『翻譯』と『諺解』における分句の相違は、次の三つのパターンに分けることができる:①『翻譯』で分けている句を『諺解』が合わせるもの(X○Y→XY);②『翻譯』で合わせている句を『諺解』が分けるもの(XY→X○Y);③『翻譯』における分句の位置を『諺解』が変えるもの(XY○Z→X○YZ)。以下、それぞれのパターンごとに両書の分句が相違する例を挙げる(用例番号のaは『翻譯』、bは『諺解』を指し、出处は套話/卷・張・表裏・行を示す)。

『翻譯』で分けている句を『諺解』が合わせるもの

- (1a) 大哥○你從那裏來 (1/上 1a2)
- (1b) 大哥你從那裏來 (1/上 1a2)
- (2a) 我有一箇火伴○落後了來 (1/上 1b2-4)
- (2b) 我有一箇火伴落後了來 (1/上 1b1-2)
- (3a) 漢兒小廝們○十分頑 (5/上 7a9-7b1)
- (3b) 漢兒小廝們十分頑 (5/上 6b7-8)
- (4a) 哥哥○你貴姓 (6/上 8a2)
- (4b) 哥哥你貴姓 (6/上 7a8)
- (5a) 馬的價錢○這幾日好 (7/上 8b9)
- (5b) 馬的價錢這幾日好 (7/上 8a3-4)
- (6a) 到那裏○便早時也好 (8/上 10b2-3)

- (6b) 到那裏便早時也好 (8/上 9b2-3)
- (7a) 料是黑豆○草是秆草 (13/上 18a1-2)
- (7b) 料是黑豆草是稗草 (13/上 16a7-8)
- (8a) 這大哥○甚麼言語 (13/上 18b1-2)
- (8b) 這大哥甚麼言語 (13/上 16b7)
- (9a) 燒動火○一霎兒熟了 (16/上 22a3-4)
- (9b) 燒動火一霎兒熟了 (16/上 20a1-2)
- (10a) 五更頭○正有月明 (18/上 25a3-4)
- (10b) 五更頭正有月明 (18/上 22b5)
- (11a) 主人家○點箇燈來 (18/上 25a6)
- (11b) 主人家點箇燈來 (18/上 22b7-8)
- (12a) 這般精土坑上○怎的睡 (18/上 25a9-25b1)
- (12b) 這般精土坑上怎的睡 (18/上 22b10-23a1)
- (13a) 主人家○你種着火 (19/上 25b7-8)
- (13b) 主人家你種着火 (19/上 23a7-8)
- (14a) 你這店西○約二十里來地 (19/上 26a6-7)
- (14b) 你這店西約二十里來地 (19/上 23b5-6)
- (15a) 從年時天旱○田禾不收 (19/上 27a1-2)
- (15b) 從年時天旱田禾不收 (19/上 24a8-9)
- (16a) 盛着棗兒○馳着行 (21/上 29a1-2)
- (16b) 盛着棗兒馳着行 (21/上 26a5)
- (17a) 那賊○將那客人脊背上 (21/上 29a6-7)
- (17b) 那賊將那客人脊背上 (21/上 26a9-10)
- (18a) 放箭射○下馬來 (21/上 30a2-3)
- (18b) 放箭射下馬來 (21/上 27a4)
- (19a) 慢慢的去○怕甚麼 (22/上 31a1-2)
- (19b) 慢慢的去怕甚麼 (22/上 28a1-2)
- (20a) 主人家○且休去 (23/上 31a6)
- (20b) 主人家且休去 (23/上 28a5-6)
- (21a) 且着布衫襟兒○抱些草去 (24/上 32b9-33a1)
- (21b) 且着布衫襟兒抱些草去 (24/上 29b6-7)
- (22a) 這主人家○好不整齊 (24/上 33a3-4)
- (22b) 這主人家好不整齊 (24/上 29b8-9)
- (23a) 且房子裏○坐的去來 (24/上 33a7-8)
- (23b) 且房子裏坐的去來 (24/上 30a3)
- (24a) 三人同行○小的苦 (25/上 34a9-34b1)

- (24b) 三人同行小的苦 (25/上 31a3-4)
- (25a) 我那裏男子漢○不打水 (27/上 36b1-2)
- (25b) 我那裏男子漢不打水 (27/上 32b10-33a1)
- (26a) 主人家哥○休恠 (29/上 38b2-3)
- (26b) 主人家哥休恠 (29/上 34b8)
- (27a) 你休恠○好去着 (29/上 38b4-5)
- (27b) 你休恠好去着 (29/上 34b9-10)
- (28a) 又與你○將來 (35/上 45a7-8)
- (28b) 又與你將來 (35/上 40b9-10)
- (29a) 客人們○休恠 (42/上 54a8-9)
- (29b) 客人們休恠 (42/上 49a3)
- (30a) 儘晚○到了京城 (46/上 59a9-59b1)
- (30b) 儘晚到了京城 (46/上 53b4)
- (31a) 五錢一斤家○也沒處尋裏 (56/下 2b7-8)
- (31b) 五錢一斤家也沒處尋裏 (56/下 2b4-5)
- (32a) 我○父親 (57/下 3b7-8)
- (32b) 我父親 (57/下 3b2)
- (33a) 氣力有時○我買 (76/下 30b7-8)
- (33b) 氣力有時我買 (76/下 27b9-10)
- (34a) 咱人今日死的○明日死的 (85/下 41b4-5)
- (34b) 咱人今日死的明日死的 (85/下 37b4-5)
- (35a) 買的人○多少包彈 (99/下 62a7-8)
- (35b) 買的人多少駁彈 (99/下 56a6-7)
- (36a) 却不○當面看了見數 (101/下 64b6-7)
- (36b) 却不當面看了見數 (101/下 58a10-58b1)
- (37a) 秤竿○秤錘 (103/下 69a9-69b1)
- (37b) 秤竿秤錘 (103/下 62b4)
- (38a) 毫星○秤鉤子 (103/下 69b1-2)
- (38b) 毫星秤鉤子 (103/下 62b5)

『翻譯』で合わせている句を『諺解』が分けるもの

- (39a) 乾把地主并左近平人涉疑打拷 (20/上 28b2-3)
- (39b) 乾把地主并左近平人○涉疑打拷 (20/上 25b6-8)
- (40a) 這們便我迎火伴去 (52/上 68b1-2)
- (40b) 這們便○我迎火伴去 (52/上 61b7-8)
- (41a) 你這馬他們都一發買將山東賣去 (60/下 7b9-8a1)

- (41b) 你這馬○他們都一發買將山東賣去 (60/下 7a6-7)
 (42a) 教些幫閑的潑男女狐朋狗黨 (90/下 48b5-6)
 (42b) 教些幫閑的潑男女○狐朋狗黨 (90/下 44a1-3)
 (43a) 每日穿茶房入酒肆妓女人家 (90/下 48b7-8)
 (43b) 每日穿茶房○入酒肆妓女人家 (90/下 44a3-5)
 (44a) 又買一部毛詩尚書周易禮記五子書韓文柳文東坡詩詩學大成押韻
 君臣故事資治通鑑翰院新書標題小學貞觀政要三國誌評話 (104/下 70a3-8)
 (44b) 又買一部毛詩尚書周易禮記五子書○韓文柳文東坡詩詩學大成押
 韻君臣故事○資治通鑑翰院新書標題小學貞觀政要三國誌評話 (104/下
 63a5-63b2)

『翻譯』における分句の位置を『諺解』が変えるもの

- (45a) 比在前高二尺○闊三尺 (19/上 26b1-2)
 (45b) 比在前○高二尺闊三尺 (19/上 23b9-10)
 (46a) 賣酒的来○會錢 (50/上 64b4-5)
 (46b) 賣酒的○来會錢 (50/上 58a8-9)
 (47a) 只是一件低銀子○不要與我 (65/下 14a3-4)
 (47b) 只是一件○低好子不要與我 (65/下 12b6-8)

3. 考察

以下においては、上に見られる分句の相違の中から、特に注目される二つの問題を取り挙げて論じることとする。

3.1. 「呼びかけ」の処理

上に挙げた 47 例のうち、圧倒的多数を占めるのは①のパターンに属する 38 例であるが、この中で注目に値するのは (1)、(4)、(11)、(13)、(20)、(26)、(29) といった諸例に見られる「呼びかけ」の部分である。いまこれら 7 例における朝鮮語訳の部分を見ると以下の如くである (ハンゲルのローマ字転写は河野式により、アレアは A で表す、音節境界はハイフンで示し、『翻譯』の声点は省略する、必要に応じ白應鎮 1997 の翻字を参照した)。

- (1a') kyn-hieng-nim ○ nei e-dy-re ro sie-by-te on-da
 (1b') kyn-hieng-a nei e-dy-re ro sie-by-te on-da
 (4a') hieng-nim ○ nei sieng-yn
 (4b') hieng-a nei sieng-i-ie
 (11a') jiu-zin-ha ○ byr hie ga-jie o-go-rie
 (11b') 主人-a dyng-jan-byr kie o-ra

- (13a') jiu-zin-ha o nei byr mu-dy-sio-sie
- (13b') 主人-a nei byr mu-dy-ra
- (20a') jiu-zin-ha o an-jig ga-di ma-rA-sio-sie
- (20b') 主人-a a-jig ga-di mar-ra
- (26a') jiu-zin-hieng-nim o he-myr ma-rA-sio-sie
- (26b') 主人-hieng-a he-myr mar-ra
- (29a') na-gy-nai-nei o he-myr mar-ra
- (29b') na-gy-nai-dyr he-myr mar-ra

以上の例では、『翻譯』において -nim (～様) や呼格の -ha、あるいは二人称主格形 nei を用いるところを、『諺解』でも呼格の -a を用いるものが多い(ただし 29b' にはない) ので、朝鮮語訳としては大きな差がないが、中国語として見た場合、『翻譯』において停頓を設けている呼びかけの部分を『諺解』が合わせて一句とすることによって、会話文としてのリアリティが削がれる結果となっている。これは司訳院における『老乞大』の役割が実用のための会話課本から試験のための朗誦課本へと変質していく過程を反映するものと言えるだろう。

3.2. 分句における「朝鮮習」

さらに興味深いのは②のパターンに属する (40) の例である。『翻譯』が“這們便我迎火伴去”(それなら私が仲間を迎えに行きます) に作るところを、『諺解』では“便”の箇所を区切りを設けており、これを中国語として読んだ場合には違和感を禁じ得ない。それぞれの朝鮮語訳は以下の通りであり、この分句が解釈の変更に伴うものではないことがわかる。

- (40a') i-re-mien nai bed ma-jA-ra ga-ma
- (40b') i-re-mien o nai bes-yr ma-jA-ra ga-ma

『諺解』に通常中国語と異なる区切り方が見られることについては山川 (1977) に一部指摘があるが、これは『翻譯』の段階においても観察される傾向であり、以下のように『諺解』でも踏襲されている。

- (48a) 這們便○我減了五錢着 (71/下 22b2-3)
- (48a') i-re-mien o nai das don-man de-ro-ma
- (48b) 這們便○我減了五錢着 (71/下 20a10-20b1)
- (48b') i-re-mien o nai das don-man der-o-ma
- (49a) 這幾箇羊也○當走一遭 (72/下 23b4-5)
- (49a') i a-ni ie-re iang-do o hAn di-ui ma-ga dAn-nir ge-si-ni
- (49b) 這幾箇羊也○當走一遭 (72/下 21a9-10)
- (49b') i ie-re iang-do o hAn di-ui ma-ga dAn-nir ge-si-ni
- (50a) 商量了價錢然後○樺了也不遲裏 (76/下 31b6-7)

(50a') gab-syr yi-ron-hAn hu-ei o bos ni-pie-do de-dyi-di a-ni-ke-ni-sdA-na

(50b) 商量了價錢然後○樺了也不遲裏 (76/下 28b6-7)

(50b') gab-syr yi-non-hAn hu-ei o bos nib-pie-do de-dyi-di a-ni-ri-ra

以上の例では、“便”、“也”、“然後”といった副詞や接続詞が、区切りを挿入されることによって、あたかも助詞のように扱われている。これは中国語において上のような前置成分が表す意味を、朝鮮語では -mien (～ならば)、-do (～も)、-hu-ei (～後に) といった後置成分によって表現するために生じた現象に他ならず、いわば分句における「朝鮮習」とでも言うべきものであろう。

そして、わずか1例ながら『諺解』においてその例が追加されていることは、こうした分句の習慣が朝鮮の司訳院において伝承されていたことを物語るものと言える。というのも、こうした分句における朝鮮習は18世紀に編纂刊行された『老乞大』、『朴通事』の清代改訂本や、19世紀の『華音撮要』(1877年)、『華音啓蒙』(1883年)、『中華正音』(1883年)、『你呢貴姓』、『學清』(ともに年代不明)等においても受け継がれているからである(日下1980、福田1995参照)。

4. おわりに

以上に述べてきた『翻譯』と『諺解』における分句の差異は、瑣末な相違点ではあるものの、さらに考究すべきいくつかの重要な問題を内包している。筆者の能力不足から、現段階では上に挙げた例のすべてにわたって分句する/しないの根拠を指摘することはできないが、本稿で言及した以外にも興味深い現象が隠されているものと思う。

<参考文献>

亞細亞文化社 1980 『原本老乞大諺解(全)』, 國語國文學資料叢書, 亞細亞文化社。

日下恒夫 1980 「『朝鮮資料』の中国語」, 『関西大学東西学術研究所所報』32: 1-2。

京城帝國大學 1944 『老乞大諺解』, 奎章閣叢書9, 京城帝國大學法文學部。

河野六郎 1947 「朝鮮語ノ羅馬字轉寫案」, 『Tôyôgo Kenkyû』2; 『河野六郎著作集』1: 96-97, 平凡社, 1976年。

白應鎮 1997 『老乞大』, 韓國文化社。

福田和展 1995 「《你呢貴姓》の言語に関する初歩的分析」, 『語学教育研究論叢』(大東文化大学)12: 189-207。

山川英彦 1977 「《老朴集覽》覚え書」, 『名古屋大学文学部研究論集』LXX(文学24): 61-12。